

# 災害時要援護者における 避難支援対策に関する シンポジウム



主催：内閣府

後援：総務省消防庁、厚生労働省、国土交通省

## シンポジウムの目的

昨年7月に発生した新潟県中越沖地震においても多くの高齢者が被災しましたが、災害時において、人命を守っていくためには、高齢者などのいわゆる災害時要援護者への対策を講じていくことが防災行政上の喫緊の課題となっています。このため内閣府では、「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」(平成18年3月改訂)を示し、全国の市区町村において、避難支援プランの策定などの取組を進めていただいているところです。

このシンポジウムは、こうした市区町村を中心とした災害時要援護者の避難支援対策の取組の促進を図るため、昨年10月の石川県での開催に引き続き、今年度2回目のシンポジウムを東京都で開催するものです。

災害時要援護者対策については、政府が、昨年暮れにとりまとめた「自然災害の「犠牲者ゼロ」を目指すために早急に取り組むべき施策」の中においても重要な施策として位置づけられ、平成21年度までを目途に、市町村における災害時要援護者の避難支援対策の取組方針を明らかにした避難支援プランの全体計画などが策定されるよう促進することとされたところです。

今回のシンポジウムでは、このような状況も踏まえ、先の新潟県中越沖地震における対応を検証し、課題や教訓を広く共有していただくとともに、現場での取組において大きな課題となっている個人情報保護との関係について、より理解を深めていただくことに焦点を当てて開催することとしています。

### (参考) 自然災害の「犠牲者ゼロ」を目指すために早急に取り組むべき施策 ～抜粋～

(避難ができない高齢者なども逃げられるように)

○ 災害時要援護者の避難支援対策の促進

→国による市町村モデル計画の策定や全国キャラバンの展開等を通じ、平成21年度までを目途に、市町村において要援護者情報の収集・共有等を円滑に進めるための避難支援プランの全体計画などが策定されるよう促進し、災害時要援護者が安全に避難する体制を確立する。



## シンポジウムプログラム

### ◆主催者あいさつ

泉 信也（防災担当大臣） <予定>

### ◆講演

「平成19年新潟県中越沖地震における災害時要援護者への対応について」  
田村圭子（新潟大学災害復興科学センター准教授） ※パネラー兼任

### ◆パネルディスカッション

●テーマ「新潟県中越沖地震における対応、個人情報保護との関係」

●コーディネーター

田中 淳（東洋大学社会学部教授）

●パネラー

○国の取組

上杉 耕二（内閣府防災担当参事官）

○新潟県中越沖地震での対応

石上 和男（新潟県福祉保健部副部長）

○ボランティアの取組み

栗田 暢之（レスキューストックヤード代表理事）

○渋谷区の取組み

中島 利明（渋谷区危機管理対策部防災課地域防災主査）

◇日時：2008年3月6日(木) 13:00~17:00

◇会場：中央合同庁舎5号館2階講堂(千代田区霞が関1-2-2)  
TEL:03-3501-5695(内閣府防災担当)

◇参加費：無料

◇定員：500名

※入館の際には身分証の提示をお願いいたします。

## 参加申し込みの方法

氏名、所属(勤務先名称)、住所、連絡先電話番号を記入の上、下記担当にお送りください。Eメールでも受け付けております。

なお、定員になり次第締め切らせていただきます。  
参加者には参加票を後日郵送させていただきます。

### <参加申し込み先>

みずほ情報総研株式会社  
社会経済コンサルティング部  
「災害時要援護者対策に関するシンポジウム」担当  
TEL:03-5281-5404/FAX:03-5281-5443  
E-mail:youengo@mizuho-ir.co.jp

◆2月29日(金)必着

◆下記ホームページからも参加申し込みが可能です。

<http://www.mizuho-ir.co.jp>

## シンポジウム会場地図



○地下鉄丸の内線「霞ヶ関」下車  
E出口より連絡通路へ。